

地区広報

すいざわ

平成19年9月

題字：水沢小学校6年 石田明日香、京香さん

No. 55号



水沢地区では グラウンドゴルフが盛ん!

星の広場の広い芝のグラウンド、

雄大なきらら峰をバックに **ナイスショット!!**

競技を通し、ふれあいが深まります。



水沢地区の人口

総数……3,517人

男……1,704人

女……1,813人

世帯数……1,141世帯(19.7.1現在)

発行・編集 水沢地区社会教育福祉推進協議会文化広報部 平成19年9月

美しい水沢 お茶と長寿の故郷

元気 はっらっ



清水 雪枝(102才)
元気そのもの！医者にかかったことはありません。



豊田 岩夫(91才)、すみゑ(89才)ご夫婦
必ず、時間を決めて三度の食事を食べます。



池田 歌(100才)
元気に自宅です。



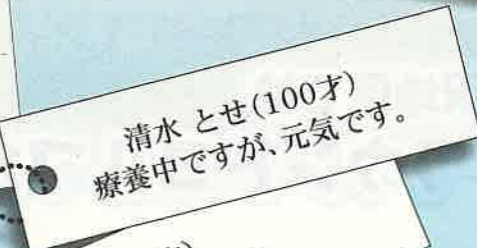
畑中 きくゑ(93才)
6人の仲良し家族です。まだまだ何でもできますよ。



清水 きくゑ(92才)
自宅で元気に。身の回りの事も自分で。



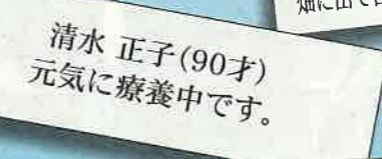
小林 熊吉(91才)
畑に出て百姓(百笑)するのが何よりの楽しみです。



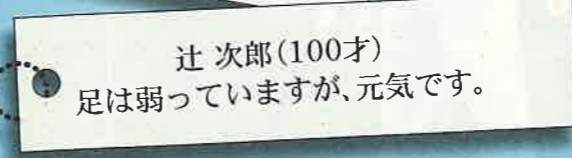
清水 とせ(100才)
療養中ですが、元気です。



坂田 兵作(91才)
元気です。



清水 正子(90才)
元気に療養中です。



辻 次郎(100才)
足は弱っていますが、元気です。



鎌田 大(93才)
子供5人、孫16人、ひ孫が23人います。長生きして本当に良かった。大勢の孫、ひ孫に囲まれて幸せ一杯です。



田中 志ずゑ(93才)
ひ孫の成長を生きがいに人生よくよせず前むきに。

大地震に休みなし！

中越沖地震に遭遇して — 小林 哲博

7月14、15、16日の予定で父の故郷新潟県魚沼市に、父(91歳)と私達夫婦の三人車で来ていた。

地震の当日泊まったホテルの駐車場で、珍しい雲が出たのでカメラに収めた。その時にはまさか地震雲とは気付かなかった。小出インター近くの道の駅でお土産を買っているとき、10時13分頃凄まじい揺れに見舞われた。でも小出の人々は大騒ぎもせず、「これは大きいぞ。」と言う程度だった。棚の商品も落ちる事は無かった。直後、小出インターに向かいETCレーンから関越自動車道に入った。

電光掲示板には、通行禁止の表示が出ていたが、「僕達の専用道路だ」と言っただけのスピードで長岡ジャンクションより北陸道に入った。しばらく走ると、路肩に故障車が止まっているのが目立ち出した。道が波打っていたり、亀裂が出来ていたり、橋との段差がきつくなっていた。

やがて、西山インターまで来た時、初めてここで降りよの標識が出て、先まで行った車も全部引き返してきた。西山インターから国道八号線へ降りた車と通行中の車で、身動きの取れない状態であった。後で気付いたのだが、震源地の刈羽村でした。

抜け道検索カーナビのお陰でどこに迷い込んでいてもいつも自宅への最短ルートを検索してくれた。知らない土地でのカーナビは心強い味方だった。たった2〜3キロの距離を2時間かけて脱出した。九十一歳の父と一緒に、一番気遣ったのはトイレであった。暑い中カーナビを利かせていると、フェューエルゲージが気になる。高速に入る前には必ず燃料を一杯にしておく事を薦める。水は2リットルのペットボトル5本位、手洗いにも、冷却水にも使える。食料は水なしで食べられる物がいいだろう。

本震の後には必ず余震がある。今回も余震は前回と同じ震度6であった。幸い起きた直後だったので、あちこち動き回って安全な所に出たが、時間が経てば通行禁止、通行止めは増える。細かい情報はほとんど無いので運任せであった。

垂れ下った電線、液状化して噴き出した泥水、陥没した道、崩れ落ちたガードレール、亀裂に落ちた車、災害は想像を超える現実がある。巻き込まれないのが一番だが、巻き込まれても何とかなると望みを捨てない事だと思います。では、その地震雲の写真を参考までに見て下さい。

水沢地区世帯数と70歳以上人数

自治会	世帯数	米寿の方(人)	70歳以上(人)
宮妻町	57	1	83
水沢谷町	46	1	36
北谷町	29		25
三本松町	68		56
西條町	93	1	79
水沢本町	150	2	113
水沢中谷町	75		44
水沢東町	108	4	84
茶屋町	68	1	56
四ツ谷町	60	1	45
横堀町	36		16
水沢野田町	64		45
合計	854	11	682

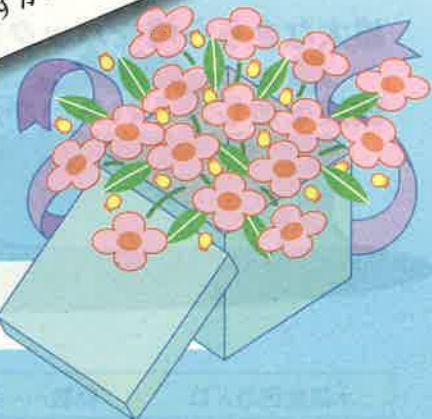
※上記の表は平成19年7月1日現在の水沢地区における町別の世帯数と70歳以上の方(昭和12年以前に生まれた方)がいる数を示している。

二〇〇七年七月十六日地震発生一時間四十五分前に魚沼市上空に出た地震雲です。

こちらの写真は、二〇〇四年十月四日の小千谷上空の地震雲。このときは震度六の余震でした。



現在、水沢町内に約50名の90才以上のご長寿さんが住んでいます。しかし、個人情報保護の関係上、個人調査の制限が有り、全員に連絡が取れず、協力していただけた方だけの掲載になりました。





バトン touchi!!

孫♪孫☆孫ブームの最中、このコーナーで生まれたての孫、その母親の代わりに2人の孫を、四苦八苦しながらも、久しぶりの子育て

てを、楽しみながら、うれしそうに筆を走らせていた母の姿がありました。水沢地区の広報を10数年担当しておりましたが、昨年の盆以降、体の調子が一段と悪くなり、自力で立ち、歩行する事ができなくなりました。家から出る事もあまりない状態の中で、地域の行事にも参加する事のなくなつた母の姿を、寂しく思うようになりました。志し半ばで広報の担当も降りる事になり、心残りもある様子ですが……、娘である私がその後を引き継がせてもらう事になりました。水沢地区にも母のような状態

の方がたくさんみえると思います。そのような方々の為にも、楽しんでもらえるような広報づくりをしたいと思っております。まだまだ未熟ではありますが、本年度からよろしくお願いいたします。

(妙)



サークル紹介



青葉会ってご存知ですか？

会を発足してから32年を迎えました。最初は住環境(台所、トイレ等)の生活改善からスタート。現在は12名で活躍しています。

私達は、地産地消を推進するため自分たちで栽培した農産物を利用して味噌や漬物等加工品作りに励んでいます。また、他の色々なグループとの交流学習会にも参加。

時には高校生の皆さんに郷土料理の出前講座を行って、食育の伝承や地域活動に頑張っている前向きな青葉会です。

みんな気楽で陽気な青葉会です。一度興味のある方は訪ねてみてください。お待ちしております。

青葉会一同



「ご寄付ありがとうございます」

「ございました」

水沢地区社会教育福祉推進協議会では、地区の方々から寄せられました寄付金を、社会を明るくする運動、町民運動会、地区文化祭、青少年の健全育成事業や地区の環境づくりなどに活用させていただいております。今後とも、「生活改善運動」にご協力いただき、ますますようお願いします。平成十八年十月以降十九年七月までにご寄付いただきましたのは、次の方々です。

- 辻 芳章 様 (西條町)
- 中川 重之 様 (水沢東町)
- 森 勉 様 (水沢本町)
- 根本 登 様 (四ツ谷町)
- 田川 課 様 (水沢野田町)
- 清水 郁代 様 (西條町)

編集後記

★平成19年度に入り、4月15日に津市西部を震源とする地震が起き、四日市市(水沢)でも震度4を記録した。多治見市では4.9度の最高気温を記録。熱中症になる人も多数。くまげみも大発生。北極の水も今世紀最小になり温暖化が進んでいる。

★農業集落排水事業:

申請件数170件

(平成19年8月現在)